



ナスィール・シャンマ●
ウード奏者/1988年ヨ
ルダンのジュラシュ・フ
ェスティバルでベスト・
アラブ・ミュージシャン
賞に輝いたのをはじめ、
国内外で数々の賞を受
賞。代表曲に、イラン・
イラク戦争で片腕を失っ
た友人のために書いた
「Oriental Love Story」、
湾岸戦争時の誤爆事件の
追悼曲「アーミリーヤの
出来事」、広島原爆犠
牲者に捧げる曲「ヒロシ
マの苦しみ」など

撮影：高木厚子

悲しみを知る ウードの翼



日本ツアーのためのスペシャルユニット

Person Naseer Shamma

ナスィール・シャンマ●ウード奏者（イラク）

い まだ混乱を極めるイラクだが、そこはかつてメソポタミア文明の揺籃の地であった。そのイラクから、正統アラブ文化を受け継ぐウード奏者ナスィール・シャンマ氏をジャパン・アウンデーションが招き、昨年11月12月に長崎、広島、東京で初来日公演を行なった。

国内外で数々の賞に輝くナスィール氏だが、1989年、フセイン政権によって投獄され、170日間の獄中生活を強いられた。その後イラクはクウェートに侵攻し、バグダッドを流れるティグリス河畔の美しい街は破壊され、彼は母を病で失った。

現在、エジプト・カイロで後進の指導にあたっている彼は、こう語る。「音楽との付き合いは、美しい道ゆりだったと同時に極めてつらいものだったが、私はその途上で多くの新しい経験を得たし、また乗り越えることによって自分を大きく成長させてくれる悲しみを知る事ができた。七つの音階が私に大きな力を授けてくれ、力尽きることはない翼を与えてくれる。それらは、どこへ飛んで行ってもいつも私のウードから流れ出るものなのだ」

（鈴木 勉）

*62ページ参照